令和5年3月新規高等学校卒業予定者に係る求人の複数応募制度について

<調査の対象求人及び企業>

令和3年度より高校生の採用選考に複数応募制度が導入されたことに伴い、当該制度の実施状況等を 検証するに当たり、令和4年度においても和歌山労働局・ハローワークにて下記の調査を行った。

なお、調査の対象は、令和4年9月5日から企業への応募が開始される時点で、高校生が応募の対象となり得る令和4年6月1日から8月31日の間に、和歌山県内の各ハローワークで受理した求人1,117件(対象企業753社)とした。

- 1 学卒求人にかかる複数応募制度の適用状況(令和4年8月末現在)
- 2 アンケート調査 (令和4年11~12月実施)

|1||学卒求人にかかる複数応募制度の適用状況|

●求人受理件数 【件】

₩ c ≒ = -	¥ 711-6\ C	公開求人	521 (47%)	801		
	当初から	指定校求人 280 (25%)	(72%)	932		
複数応募可	10 月以降	公開求人	55 (5%)	131	(84%)	1, 117 (100%)
	10 月以降	指定校求人	76 (7%)	(12%)		
複数応募否	公開求。	公開求人	46 (4%)		185	
後 数心券台		指定校求人	139 (12%)		(16%)	

●指定校求人に係る推薦倍率

【件】

3倍以内	361	当初から 複数応募可	183 (37.0%)		495
		10 月以降 複数応募可	66 (13.3%)	361 (72. 9%)	
		複数応募否	112 (22.6%)		
		当初から 複数応募可	97 (19.6%)		(100%)
3倍超	134 10 月以降複数応募可複数応募否		10 (2.0%)	134 (27. 1%)	
		複数応募否	27 (5. 5%)		

<業種別> 【件】

業種	計	当初から複数応募可	10 月以降複数応募可	複数応募否
建設業	194	145 (74.7%)	22	27
製造業	359	229 (63.8%)	46	84
運輸、郵便業	36	16 (44.4%)	14	6
卸売業、小売業	129	100 (77.5%)	14	15
宿泊業、飲食サービス業	76	64 (84.2%)	3	9
生活関連サービス業、娯楽業	43	38 (88.4%)	0	5
医療、福祉	140	113 (80.7%)	13	14
サービス業	44	33 (75.0%)	9	2
その他	96	63 (65.6%)	10	23
合計	1, 117	801	131	185

^{※()}は業種別に「当初から複数応募可」が占める割合

<職種別> 【件】

職種	計	当初から複数応募可	10 月以降複数応募可	複数応募否
専門的・技術的職業	134	100 (74.6%)	12	22
事務的職業	120	74 (61.7%)	13	33
販売の職業	72	52 (72.2%)	11	9
サービスの職業	226	192 (85.0%)	16	18
生産工程の職業	358	237 (66.2%)	43	78
輸送・機械運転の職業	25	15 (60.0%)	9	1
建設・採掘の職業	93	69 (74.2%)	14	10
運搬・清掃・包装等の職業	65	41 (63.1%)	12	12
その他	24	21 (87.5%)	1	2
合計	1, 117	801	131	185

^{※()}は職種別に「当初から複数応募可」が占める割合

<規模別> 【件】

1796 IX/1717					KII A
規模		計	当初から複数応募可	10 月以降複数応募	複数応募否
~ 29人		293	221 (75.4%)	21	51
30人~ 99人		377	279 (74.0%)	37	61
100人~299人		264	179 (67.8%)	41	44
300人~499人		75	52 (69.3%)	18	5
500人~999人		48	28 (58.3%)	9	11
1000人~		60	42 (70.0%)	5	13
	合計	1, 117	801	131	185

^{※()}は規模別に「当初から複数応募可」が占める割合

2. アンケート調査の結果

調査対象事業所753社へアンケート用紙を送付し、回答のあった569社(回答率75.6%)の結果を取りまとめた。 なお、職種により複数応募の可否、開始日を異なる扱いをしたと回答のあった事業所(6社)については、それぞれの区分で計上した。

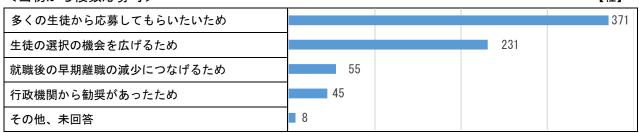
【社】

	当初から複数応募可	10 月 1 日以降複数応募可	複数応募否	計
企業数	431	60	84	575

質問1:複数応募の可(開始日)または否と選択した理由について(複数回答可)

<当初から複数応募可>

【社】

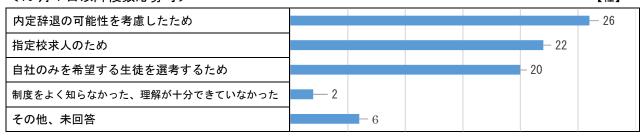


(その他の主な意見)

友達と一緒に応募してもらうため/不利になると困るから/行政の方針に従った/ 応募がないので/求職者の受入間口を広げるため

<10月1日以降複数応募可>

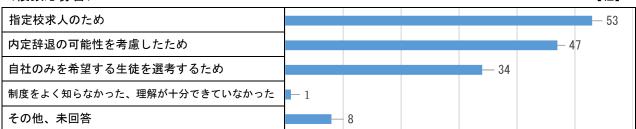
【社】



(その他の主な意見)

複数応募可となるのが 10/1 以降が最短と思っていた/そもそも高卒求人を出すのが遅くなったため/ 他県の募集に配慮したため/9月の面接日が重なり、変更又は日程調整が大変なため

<複数応募否> 【社】



(その他の主な意見)

日程調整が難しいため

質問2:来年度の複数応募について、現時点でどのようにお考えですか?

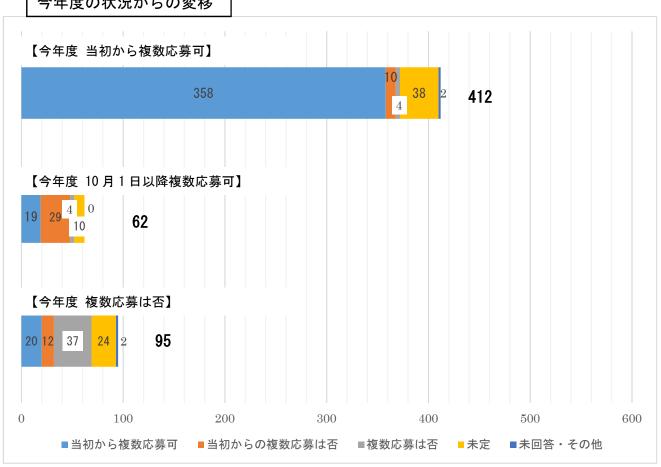
【社】

来年度の意向	当初から 複数応募可	当初からの複数応募は否	複数応募は否	未定	未回答 その他	計
全体	397 (69. 8%)	51 (9. 0%)	45 (7. 9%)	72 (12. 7%)	4 (0. 7%)	569 (100%)
今年度の状況別						
当初から複数応募可	358	10	4	38	2	412
10月1日以降複数応募可	19	29	4	10	0	62
複数応募は否	20	12	37	24	2	95

全 体



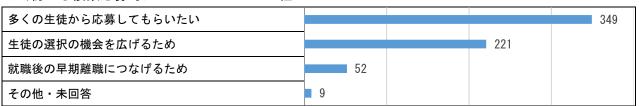
今年度の状況からの変移



質問3:質問2で選択した理由について(複数回答可)

<当初から複数応募可>

397 社

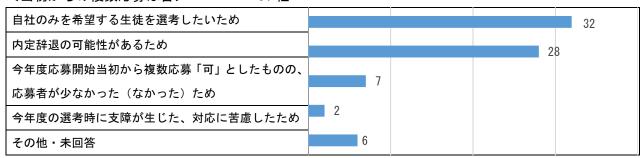


(その他の主な意見)

行政機関から勧奨があったため、行政の方針のため/和歌山県では複数応募が主流になると考えるため/ 不利になると困るため/可としないと応募が少なくなると考えるため/誰か応募してほしいので

<当初からの複数応募は否>

51 社

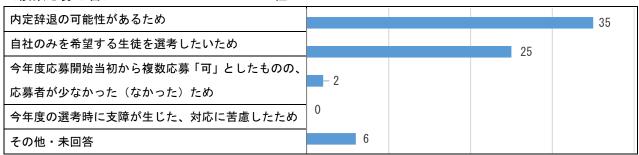


(その他の主な意見)

昨年度「可」としたが、学校側の反応が薄かったため/行政の取り決めがないなら「否」を検討したい/ 他県の募集に配慮するため/指定校求人予定/9月の面接日が重なり、変更等の日程調整が大変なため

<複数応募は否>

45 社



(その他の主な意見)

生徒と会社の双方に実感できるメリットがないため/自社の実務面で調整が大変なため(全員面接する調整等)/指定校求人予定/技術が必要な職場のため、学科指定をしたい

質問4:本年度の選考に係る応募状況等について(複数回答可)

【社】

回答項目	合計	当初から 複数応募可	1 0 月以降 複数応募可	複数応募は否
応募者が増えた	56	41	6	9
応募者が減った	120	70	22	28
学校から求人内容等の問い合わせが増えた	27	20	2	5
職場見学希望者が増えた	83	56	8	19
推薦数の変更について学校から連絡があった	23	16	3	4
応募辞退・内定辞退があった	28	26	1	1
支障が生じた・対応に苦慮したことがあった	5	4	1	0
例年と変わらなかった	258	193	26	39
その他・未回答	149	112	14	23

(支障が生じた・対応に苦慮した主な意見)

- *推薦数の引き上げについては学校ごとに考えが異なっており、結果、学校間で応募者数のバラツキがより拡大した。
- * 人事担当が替わり、高卒求人は応募要領が複雑なので対応に苦慮。わかりやすいテキストがあれば…

(その他の主な意見(複数応募、推薦数上限の撤廃、その他))

- * 推薦数上限の撤廃は今まで指定校ではなかった学校も対象にできたので良かったと思う。
- *生徒側が限られた時間を有効的に活用し、見学・進路相談など十分に協議して応募してもらえるのは企業側にも良い点であったと思う。
- * 多くの生徒から応募してもらいたい観点と、生徒の選択機会を増やす観点で複数応募制度は良いと思う。後は企業努力が必要。
- * 今まで繋がりのなかった学校からの応募があったため、いろんな人材を見ることができた。
- *複数応募は企業側にとっても選択される機会が増えると考えると制度の継続を望む。
- *就職希望の生徒が減り、子供の数が減っているため、複数応募にしても応募者が減る状況は今後も変わらないと思う。
- *複数応募利用者はほとんどいないと聞いている。企業側も期待した応募者から断られるリスクもあり、 あまりメリットを感じない。特に中小企業には厳しい(目を向けてもらえない)制度だと思う。また、 学生も複数社の応募(試験・面接など)には気力・体力が必要。
- * 高校訪問の際、複数応募制は評判が良くなかった。内定辞退の恐れもあり良い印象が持てない。
- *実際に複数応募している学生は少ないと感じる。
- *小規模事業所にも応募があるようにするため複数応募「可」としたが、やはり年々採用に苦労する。なんとか応募してもらえる会社作りが必要だと考えている。
- *複数応募制度自体は良いと思う。高校の指定校制度が生徒の選択肢を狭めている。本当に生徒のためになっているのか疑問である。
- * 現時点において複数応募制のメリットが見いだせない。
- *応募・問い合わせがなかった。(81社)
- *初めて出したため比較できず。(11社)